

鬼生田貞雄 おにきだ せいゆう 小説家。明治四十二年七月十五日福島縣生れ、昭和四十二年十一月二十日歿（一九九一六）。明治大學中退。實業之日本社編輯局勤務、雑誌『ホーパ』編輯長を務めた。うち作家生活は入り、雑誌『現象』、『作品』各同人、日本文化人會議所屬。

著譯書小 『基地九十九里』(昭和二十八年五月十日東和社)、ヘルムート・シツク著『アマゾン』の裸族』(昭和二十九年五月二十七日一頁書房)、『海のかな愛の物語』(昭和四十二年六月二十日秋元書房『ジエニヤ・シリーズ』)等。

アマゾンの裸族
基地九十九里 鬼

ヘルム
新刊 鬼生田貞雄著

九十九里！
われわれは、大急ぎにき
わう平和な漁村の明け暮れ
を遠慮したが、いまや
この一帯の砂浜にも、暗い
嵐がおそいかかっている。
駐留軍の演習地と化した九
十九里は、雄は戦車に突さ
れ、漁場は実弾射撃の射程内
に入つて、いまや荒廢の一途
を辿つてゐる。

「基地は重大な社会問題を
招来しつつある。本書によ
つて基地の真相を徐々に
知ることが出来る。」